

令和8年度 札幌市立青葉中学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：34504

「学ぶ力」	
成果	課題
◇学習などについてのアンケートより ・自己有用感「人の役に立ててうれしいと感じたことがある」95.8% ・自己有用感「人の役に立つ人間になりたい」96.8% ・他者受容「人のよいところを見付けようとしている」94.2% ・難しいことにも挑戦する意欲「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」89.4%	◇学習などについてのアンケートより ・自ら学ぶ方法と人と学び合う方法「自分の意見を進んで発言しようとしている」67.2% ・生活を自らコントロール「自分で計画を立てて勉強している」61.4% ・自己有用感「自分が必要とされていると感じる」76.2%
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
◇札幌市学校教育の基盤である人間尊重の教育の推進に当たり、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりが必要とされている「自己有用感」や「他者受容」については肯定的な回答が多い。子ども同士による行事等での取組や授業等での意見交流の場などを設定していることが、他者への承認や他者からの承認を高めていると考えられる。引き続き、自分が大切にされていると実感できる場を設定していく。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

「自らすすんで学習に向かい、自分の考えを表現できる子ども」(新札幌わかば小学校と共通目標)

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	(1)AAR サイクルを意識した課題探究的な学習の展開 (2)生徒が主体となる授業への改善 (3)子ども自ら学びを進めたい意欲を高めるイントロダクションの構成(課題設定力の育成) (4)義務教育9年間の系統性を意識した授業展開の工夫 (5)直接体験の場、自己決定の場、失敗から学べる場、対話の場の創出 (6)学習評価の検証とより一層の充実	①自治的な学校を目指して ・生徒会を中心とした組織的な活動(生徒総会の実施、学校祭の企画運営、さっぽろっ子サミットと関連した活動など) ②自治的な学年を目指して ・各係を中心とした組織的な活動(旅行的行事の企画運営、日常活動など) ③自治的な学級を目指して ・学級代表を中心とした組織的な活動(学級会の実施、日常活動など)
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
◇主に②について、Googleformで生徒一人一人の意見を集約し、生徒会活動において個人の意見や考えが反映することができるような環境を整備する。 ◇主に(2)や(5)について、Chromebookで利用できる複数のツールの利点などの事前指導の機会を設け、生徒自身で選択して使用できるような環境を整備し、自らすすんで学習に向かい、考えを表現できるようにする。		

<本プログラムの実行に向けて>

